

てつだ 3.お手伝いのポイント

としょ お年寄りへのお手伝い

- 階段の上り下りや、車両の乗り降りのとき、横で軽く腕をささえてあげると、安全です。
- お年寄りはすばやく行動することが難しくなりますので、せかさないよう気をつけましょう。
- はっきりした声でていねいに説明しましょう。

くるま 車いすの人へのお手伝い

- 少しかがんで目線を合わせて話すと、気持ちが伝わりやすくなります。
- 車いすの人と一緒にエレベーターに乗るときは、その人を優先しましょう。
- 車いすを動かしたりするときは、無理をせず、まわりの人たちに協力してもらいましょう。

め 自分の不自由な人へのお手伝い

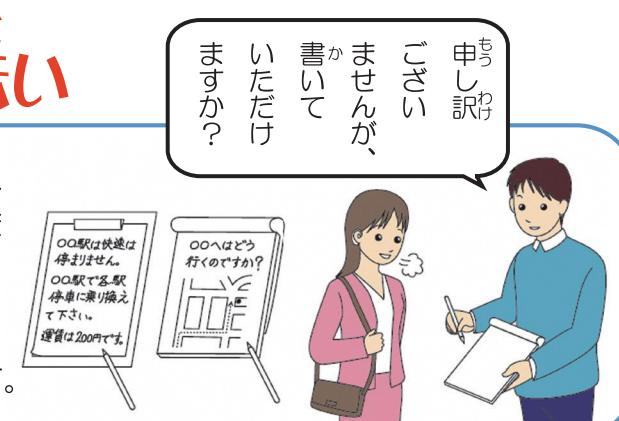
- まずは声をかけ、手助けが必要かどうかを確かめましょう。
- 誘導するときはその人の半歩前に立ち、あなたのひじや肩をつかんでもらいましょう。歩きながら「速さはこのくらいでいいですか？」と確かめたり、「いま信号待ちです」などと、まわりの様子を伝えましょう。
- 具体的にわかりやすく、説明するようにしましょう。



何にお手伝いしましょうか?
どちらに行かれますか?

みみ 目の不自由な人へのお手伝い

- 声をかけても反応がないときは、その人の視界に入るようにしてゆっくり、はっきりと話しかけましょう。
- メモ帳などを使えば、手話ができないても、耳の不自由な人とコミュニケーションをとれます。



ますか?
いただけ
書いて
書か
ませんが、
ござい
申もう
しわけ

「こころのバリアフリー」 てつだ お手伝いガイドブック



『こころのバリアフリー』とは、

みんなが一緒に気持ちよく暮らしていくように、わたしたち一人ひとりが、
お年寄りや障がいのある人などの気持ちになって考え、協力していくことです。

平成29年1月

京田辺市バリアフリー基本構想（田辺地区）推進市民会議